

2025年12月7日 ルカ1：46－56

説教題 「そのあわれみは代々限りなく」

【今日の説教から】

アドベントの2本目のろうそくが立ちました。再来週はクリスマス礼拝、アドベントの聖書も、主のご降誕に向け、ストーリーは進んでいきます。

「どうして、そんな事があり得ましようか。わたしにはまだ夫がありませんのに」。素晴らしい神様の出来事の実現に一役買いたいけれども自分にはその能力がない。不可能だ。どう考えても現状ではお役に立てない。そういうマリヤの応答でした。しかし御使いの答えは「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう…あなたの親族エリサベツも老年ながら子を宿しています…神には、なんでもできないことはありません」とのものでした。取り急ぎエリサベツの元へと向かうマリヤ。「主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」との慰め深い言葉を聞き、マリヤの喜びは爆発します。

「わたしの魂は主をあがめ、わたしの靈は救主なる神をたたえます。この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、わたしをさいわいな女と言うでしょう、力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださったからです。そのあわれみは、代々限りなく主をかしこみ恐れる者に及びます。」

主は弱く心許ない私たちを見出し、任命し、強め、用い、大いなることを成し私たちを喜びに満たしてくださいます。

皆様おはようございます。

アドベントの二本目のろうそくが立ちました。再来週はクリスマス礼拝です。

アドベントの聖書の箇所も、主のご降誕に向け、どんどんとストーリーは進んでいきます。

「どうして、そんな事があり得ましようか。わたしにはまだ夫がいませんのに」。素晴らしい神様の出来事の実現に一役買いたいけれども自分にはその能力がない。不可能だ。どう考えても現状ではお役に立てない。そういうマリヤの応答でした。しかし御使いの答えは「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう…あなたの親族エリサベツも老年ながら子を宿しています…神には、なんでもできないことはありません」とのものでした。取り急ぎエリサベツの元へと向かうマリヤ。「主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」との慰め深い言葉を聞き、マリヤの喜びは爆発します。

神には、なんでもできないことはありません。神様には不可能なことはありません。これは私たちへの大きな慰めでもあります。

「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう」

聖霊が望むとき。あのペンテコステの日、弟子たちは習いもしない異国の言葉で語りだし、神様の偉大な御業をほめたたえたではありませんか。いと高き方の力が私たちに臨むとき、私たちは聖なる御子イエス様、神の子の証しを成し遂げることが出来ます。

エリサベツの元へと向かうマリヤ。「主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」との慰め深い言葉を聞き、マリヤの喜びは爆発します。

主のお語りになったことは必ず成就します。

イザヤ 55:6 あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、主を尋ねよ。近くおられるうちに呼び求めよ。

55:7 悪しき者はその道を捨て、正しからぬ人はその思いを捨てて、主に帰れ。そうすれば、主は彼にあわれみを施される。われわれの神に帰れ、主は豊かにゆるしを与える。

55:8 わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると／主は言われる。

55:9 天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。

55:10 天から雨が降り、雪が落ちてまた帰らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種まく者に種を与え、食べる者にかてを与える。

55:11 このように、わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところのことをなし、わたしが命じ送った事を果す。

55:12 あなたがたは喜びをもって出てきて、安らかに導かれて行く。山と丘とはあなたの前に声を放って喜び歌い、野にある木はみな手を打つ。

55:13 いとすぎは、いばらに代って生え、ミルトスの木は、おどろに代って生える。これは主の記念となり、また、とこしえのしるしとなって、絶えることはない」。

主はマリヤが当然の形では受胎しないことをすでにご存じでした。そしてそのような状況でいと高き方のお力のうちに、聖霊が彼女に臨んで、「生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられる」との出来事が起こり、いいなずけ(婚約者・この当時すでに法的に婚姻しているに等しい者と理解された)から不定のそしりを受けて困難を受けかねない状況もすべてうまく進むように神様は考えていてくださいました。

マタイ 1:18 イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。

1:19 夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

1:20 彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

1:21 彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

1:22 すべてこれらのが起ったのは、主が預言者によって言わされたことの成就するためである。すなわち、

1:23 「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

1:24 ヨセフは眠りからさめた後に、主の使が命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた。

1:25 しかし、子が生れるまでは、彼女を知ることはなかった。そして、その子をイエスと名づけた。

「主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」。

「神には、なんでもできないことはありません」。

「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。」

ローマ 8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

神様のご計画は私たちの最善を図られるご計画です。

1コリント 10:13 あなたがたの会った試錬で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試錬に会わせることはないばかりか、試錬と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。

マタイ 7:7 求めよ、そうすれば、与えられるであろう。搜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

7:8 すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

7:9 あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。

7:10 魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。

7:11 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物をすることを知っているとすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないがあろうか。

7:12 だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

神様は真実な方であり、私たちを耐えられない試練から導き出し、良いものを与えてくださいます。そのお方のご計画の中に生きる。どんなに自分がか弱くとも、何かを成すことが不可能だと思っても、それでも不可能のない神様を信じて期待するのです。主は私たちに勝利と祝福を約束していくくださいます。その主のお守りと祝福の言葉は必ず実現すると確信して、自らの出来ることに目を奪われずに、すべてにおいて不可能なことのないお方を見つめましょう。

マリヤは信仰により、すべての不安を吹き飛ばして、神様がなさった素晴らしいことを、それを目で見ることなしに、丸々素晴らしいことが成就実現したものとして喜びを爆発させているのです。

2コリント 4:6 「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

4:7 しかしわたしたちは、この宝を土の器の中に持っている。その測り知れない力は神のものであって、わたしたちから出たものでないことが、あらわれるためである。

4:8 わたしたちは、四方から患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。

4:9 迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。

4:10 いつもイエスの死をこの身に負うている。それはまた、イエスのいのちが、この身に現れるためである。

4:11 わたしたち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されているのである。それはイエスのいのちが、わたしたちの死ぬべき肉体に現れるためである。

4:12 こうして、死はわたしたちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのである。

4:13 「わたしは信じた。それゆえに語った」としてあるとおり、それと同じ信仰の靈を持っているので、わたしたちも信じている。それゆえに語るのである。

4:14 それは、主イエスをよみがえらせたかたが、わたしたちをもイエスと共によみがえらせ、そして、あなたがたと共にみまえに立たせて下さることを、知っているからである。

4:15 すべてのことは、あなたがたの益であって、恵みがますます多くの人に増し加わるにつれ、感謝が満ちあふれて、神の栄光となるのである。

4:16 だから、わたしたちは落胆しない。たといわたしたちの外なる人は滅びても、内なる人は日ごとに新しくされていく。

4:17 なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。

4:18 わたしたちは、見えるものにではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。

ヘブル 11:1 さて、信仰とは、望んでいる事がらを確信し、まだ見ていない事実を確認することである。

11:2 昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。

11:3 信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのでないことを、悟るのである。

11:4 信仰によって、アベルはカインよりもまさったいにえを神にささげ、信仰によって義なる者と認められた。神が、彼の供え物をよしとされたからである。彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている。

11:5 信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。神がお移しになったので、彼は見えなくなった。彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

11:7 信仰によって、ノアはまだ見ていない事がらについて御告げを受け、恐れかしこみつつ、その家族を救うために箱舟を造り、その信仰によって世の罪をさばき、そして、信仰による義を受け継ぐ者となった。

11:8 信仰によって、アブラハムは、受け継ぐべき地に出て行けとの召しをこうむった時、それに従い、行く先を知らないで出て行った。

11:9 信仰によって、他国にいるようにして約束の地に宿り、同じ約束を継ぐイサク、ヤコブと共に、幕屋に住んだ。

11:10 彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都をもくろみ、また建てたのは、神である。

11:11 信仰によって、サラもまた、年老いていたが、種を宿す力を与えられた。約束をなさったかたは真実であると、信じていたからである。

11:12 このようにして、ひとりの死んだと同様な人から、天の星のように、海べの数えがたい砂のように、おびただしい人が生れてきたのである。

11:13 これらの人々はみな、信仰をいだいて死んだ。まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び、そして、地上では旅人であり寄留者であることを、自ら言いあらわした。

11:14 そう言いあらわすことによって、彼らがふるさとを求めていることを示している。

11:15 もしその出てきた所のことを考えていたなら、帰る機会はあったであろう。

11:16 しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであった。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。

ルカ 1:45 主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」。

1:46 するとマリヤは言った、「わたしの魂は主をあがめ、

1:47 わたしの靈は救主なる神をたたえます。

1:48 この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、わたしをさいわいな女と言うでしょう、

1:49 力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださいましたからです。そのみ名はきよく、

1:50 そのあわれみは、代々限りなく／主をかしこみ恐れる者に及びます。

神様の素晴らしいご計画というものを何となく頭の片隅に感じていた。神様は素晴らしい方で、素晴らしいことをしてくださる方ということを何となく感じていた。しかし今、神様は私の目の前にそれをお示しになられた。私のような小さなものに、驚くべき、世界の救いに関することに関与させていただくことになろうとは。私はとうの昔から神様に見いだされており、神様に知られていた。こんなに私の身近なところに神様はおられて、実に私のようなものに白羽の矢を立てて驚くべき救いの、恵みのご計画を現されようとは。彼女は驚きと共に喜びを爆発させるのです。

1:46 するとマリヤは言った、「わたしの魂は主をあがめ、

1:47 わたしの靈は救主なる神をたたえます。

1:48 この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、わたしをさいわいな女と言うでしょう、

1:49 力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださいましたからです。そのみ名はきよく、

1:50 そのあわれみは、代々限りなく／主をかしこみ恐れる者に及びます。

主はあがめられるべきお方。すなわち大きく大きくされるべきお方。こんなに偉大で、現実的で、私たちの前に大きく君臨される恵みのお方、そして救い主なる神。私たちはそういうお方の前にいます。そういったことを、私たちは多忙な毎日の間に忘れてはいないでしょうか。そういう大きな大きな恵み深く愛に満ちたお方のお守りの中に置かれていること、力強

く守られていることをついぞ忘れて過ごしていることはないでしょうか。アドベント、それは信仰の大掃除の時期、信仰の棚卸、神様の恵みの出来事の在庫チェックの時です。

「力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださった」のです。力あるお方が、この小さなものも、いっさいの権威を授けられた。

28:19 それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

28:20 あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

1:49 力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださったからです。そのみ名はきよく、

1:50 そのあわれみは、代々限りなく／主をかしこみ恐れる者に及びます。

その御名はきよく、そのあわれみは代々限りなく、主をかしこみ恐れる者に及びます。

1 ペテロ 2:6 聖書にこう書いてある、「見よ、わたしはシオンに、選ばれた尊い石、隅のかしら石を置く。それにより頼む者は、決して、失望に終ることがない」。

主に信頼する者、より頼む信仰は失望には終わらない。主をかしこみ恐れる者のために、そのあわれみは代々限りない。それが御名のきよい神様の在り方であるとマリヤは聖霊に満たされて語りました。

50節と、54節にもありますが、主は「あわれみ」のお方です。主は(罪人、敵、弱者に対して)慈悲、あわれみ、情け、寛大の心に満ちたお方、同情と憐れみのお方です。

ヘブル 4:12 というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髄とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。

4:13 そして、神のみまえには、あらわでない被造物はひとつもなく、すべてのものは、神の目には裸であり、あらわにされているのである。この神に対して、わたしたちは言い開きをしなくてはならない。

4:14 さて、わたしたちには、もろもろの天をとおって行かれた大祭司なる神の子イエスが

いますのであるから、わたしたちの告白する信仰をかたく守ろうではないか。

4:15 この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかつたが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試錬に会われたのである。

4:16 だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあづかって時機を得た助けを受けるために、はばかることなく恵みの御座に近づこうではないか。

この世界を統べ治める神様が、このように憐れみ深く、私たちの弱さに同情してくださるお方であられるということは、どれほど私たちの慰めでしょうか。

1:51 主はみ腕をもって力をふるい、心の思いのおごり高ぶる者を追い散らし、

1:52 権力ある者を王座から引きおろし、卑しい者を引き上げ、

1:53 飢えている者を良いもので飽かせ、富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。

1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

1:55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とを／とこしえにあわれむと約束なさつたとおりに」。

「主の憐れみなどあったものか」というような熾烈な出来事が世の中に満ちているのです。不公正と不正義が横行しているのです。しかしそうではないということが知らされるのです。力ある人たちが主人公で、ごく一握りの人数の彼らが多くの人たちの上に、主を畏れることなく、我欲のままに君臨している姿。正直者は馬鹿を見るようなその姿に、祈ることに挫折してしまいそうになりますが、しかし御名のきよい神様は全てをお見通していらっしゃり、私の嘆きに耳を傾けていてくださったということが分かったのです。ですからマリヤの喜びは爆発するのです。アドベントの聖書の箇所にたびたび登場する言葉は、「喜び」、それも「尋常ではない、この上もない喜び」なのです。

1:51 主はみ腕をもって力をふるい、心の思いのおごり高ぶる者を追い散らし、

1:52 権力ある者を王座から引きおろし、卑しい者を引き上げ、

1:53 飢えている者を良いもので飽かせ、富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。

1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

1:55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とを／とこしえにあわれむと約束なさつたとおりに」。

私たちは見捨てられてはいないのだ、これがメッセージの根幹をなしているのではないで

しょうか。ここでも主は御力を持ってみ腕を振るってくださいます。この世界の不条理を見過ごされるお方ではありません。

心の思いのおごり高ぶるもの、つまり主を畏れないものということだと思います。自分のことしか考えない者たちだと思います。権力あるもの。ここではそういった心おごり高ぶるものが権力を自分のほしいままにして権力を私物化して主を畏れない態度を現しているのではないでしょうか。憐れみもなく、ただ自分が権力者だというおごりにまみれて、主がなさるようなあわれみによる統治をしない、そういう権力者を言っているのではないでしょうか。「富んでいる者を空腹で…」この前には「飢えている者」との言葉がありました。植えていて、何日も食べておらず、今日食べなければいのちが危ういという人がいる中で、心高ぶり、権力を私物化して、また富に酔いしれて、しかしドケチで人が飢えて倒れようが自分には関係ないと、あわれみの心を閉ざす者に、どうしてあわれみの神様が分かるのでしょうか。

1 ヨハネ 3:14 わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からいのちへ移ってきたことを、知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている。

3:15 あなたがたが知っているとおり、すべて兄弟を憎む者は人殺しであり、人殺しはすべて、そのうちに永遠のいのちをとどめてはいない。

3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

3:17 世の富を持っていながら、兄弟が困っているのを見て、あわれみの心を閉じる者には、どうして神の愛が、彼のうちにあろうか。

3:18 子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。

主はあわれみの心を閉ざし、神様の心に生きない者を追い散らし、引き下ろし、空腹のまま返されます。しかし弱い者、小さいものにあわれみの目をかけて力づけ、引き上げ、良いもので飽かせてくださいます。

1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

1:55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とを／とこしえにあわれむと約束なさったとおりに」。

主は祝福のお約束をお忘れにはなられません。主はあわれみ深いお方です。力あるお方であ

りながら、身分の低い者、飢えている者に目をかけてくださいます。

神様はしもペアブラハムとのお約束と憐れみをお忘れになりません。それはアブラハムの光栄なる務めが守られるためです。私たちは神の民、宝の民としての務めが委ねられているのです。だから私たちは神様のあわれみに漏れることがないのです。

創世記 12:1 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

12:2 わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、／あなたのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、／あなたによって祝福される」。

申命記 7:6 あなたはあなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。

7:7 主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。

7:8 ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして、主は強い手をもってあなたがたを導き出し、奴隸の家から、エジプトの王パロの手から、あがない出されたのである。

7:9 それゆえあなたは知らなければならない。あなたの神、主は神にましまし、真実の神にましまして、彼を愛し、その命令を守る者には、契約を守り、恵みを施して千代に及び、

7:10 また彼を憎む者には、めいめいに報いて滅ぼされることを。主は自分を憎む者には猶予することなく、めいめいに報いられる。

7:11 それゆえ、きょうわたしがあなたに命じる命令と、定めと、おきてとを守って、これを行わなければならない。

7:12 あなたがたがこれらのおきてを聞いて守り行うならば、あなたの神、主はあなたの先祖たちに誓われた契約を守り、いつくしみを施されるであろう。

7:13 あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたの数を増し、あなたに与えると先祖たちに誓われた地で、あなたの子女を祝福し、あなたの地の産物、穀物、酒、油、また牛の子、羊の子を増されるであろう。

7:14 あなたは万民にまさって祝福されるであろう。あなたのうち、男も女も子のないものではなく、またあなたの家畜にも子のないものはないであろう。

7:15 主はまたすべての病をあなたから取り去り、あなたの知っている、あのエジプトの悪疫にからせず、ただあなたを憎むすべての者にそれを臨ませられるであろう。

1ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民

である。それによって、暗やみから驚くべき光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

2:10 あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。

マタイ 7:12 だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

7:13 狹い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいって行く者が多い。

7:14 命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。

7:15 にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。

7:16 あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集めようか。

7:17 そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。

7:18 良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。

7:19 良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。

7:20 このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。

ヨハネ 8:12 イエスは、また人々に語ってこう言われた、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」。

ヘブル 10:32 あなたがたは、光に照されたのち、苦しい大きな戦いによく耐えた初めのころのことを、思い出してほしい。

10:33 そしられ苦しめられて見せ物にされたこともあれば、このようなめに会った人々の仲間にされたこともあった。

10:34 さらに獄に入れられた人々を思いやり、また、もっとまさった永遠の宝を持っていることを知って、自分の財産が奪われても喜んでそれを忍んだ。

10:35 だから、あなたがたは自分の持っている確信を放棄してはいけない。その確信には大きな報いが伴っているのである。

10:36 神の御旨を行って約束のものを受けたため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

10:37 「もうしばらくすれば、／きたるべきかたがお見えになる。遅くなることはない。

10:38 わが義人は、信仰によって生きる。もし信仰を捨てるなら、／わたしのたましいはこれを喜ばない」。

10:39 しかしわたしたちは、信仰を捨てて滅びる者ではなく、信仰に立って、いのちを得

る者である。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。神様は小さく心許ない私に目を留めてくださり、力ある方が私と共にいて、偉大なることを実現してくださいます。主の御名は尊くその憐れみは世々限りなく主を畏れる者に及びます。憐れみをお忘れにならず、しもべを助けてくださいます。私は主を大きくあがめ、わがたましいには救い主のゆえにこの上ない喜びがあります。あらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン